

# 富士時報

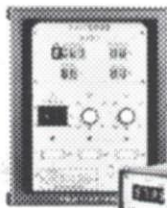
FUJI  
ELECTRIC  
JOURNAL

FUJI  
ELECTRIC

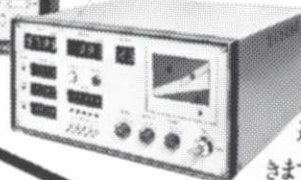
1978  
VOL. 51

7

電力の有効利用を実現します。  
**電子式デマンド監視装置**



使用電力を常時監視し、契約電力(30分間の平均電力)を超過する恐れのある場合は、警報を発し、負荷のしゃ断指令を出します。



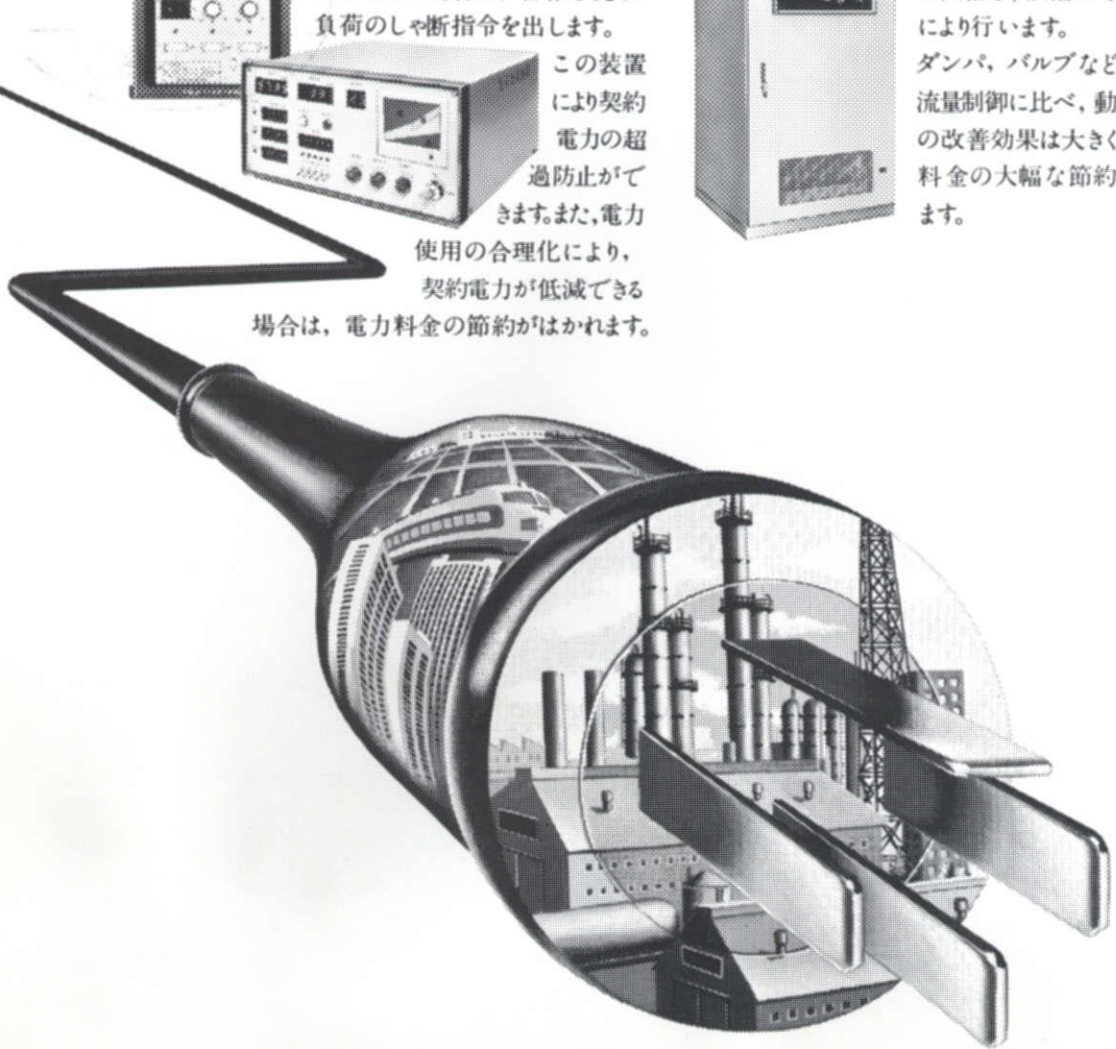
この装置により契約電力の超過防止ができます。また、電力

使用の合理化により、契約電力が低減できる場合は、電力料金の節約がはかれます。

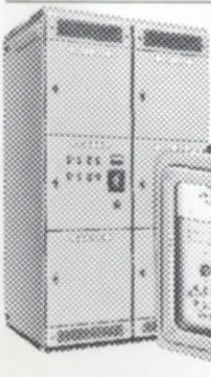
電力損失を軽減します。  
**静止形動力節電装置**



例えば、ブロー運転の場合は、操業に対する最適風量の供給を、設備の可変速化により行います。ダンパ、バルブなどによる流量制御に比べ、動力損失の改善効果は大きく、電力料金の大幅な節約ができます。



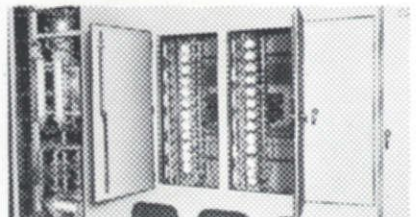
電力の効率運用をはかります。  
**電子式自動力率調整器**



無効電力が、設定値をオーバーした時、コンデンサの投入、しゃ断指令を自動的に行います。力率の改善、力率管理の省力化、無効電力による電圧の変動を押えることなどを、目的とした電力管理機器です。

電力の質を向上させます。  
**静止形フリッカ補償装置**

電圧を安定させ、フリッカ(電圧変動)により発生する照明やテレビ映像のチラツキを防止します。この装置により、アーク炉、圧延機、溶接機などは、フリッカによる苦情もなくなり安心して使用することがができます。



**富士電力利用合理化システム**





\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。